

統計トピックスNo. 43

^{とら}
「寅年生まれ」と「新成人」の人口

－ 平成22年 新年にちなんで －

(推計人口から)

^{とら}
寅年生まれは1034万人

新成人は127万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、平成22年1月1日現在における
^{とら}「寅年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I ^{とら}寅年生まれの人口は1034万人

- 男性は505万人，女性は530万人
- 昭和25年生まれが最も多い
- 十二支の中では9番目

II 新成人人口は127万人

- 男性は65万人，女性は62万人
- 成人に達した平成生まれは125万人
- 新成人人口は減少を続け，初めて130万人を下回る

I ^{とら} 寅年生まれの人口は1034万人

男性は505万人，女性は530万人

平成22年1月1日現在における^{とら}寅年生まれの人口は1034万人で，総人口1億2749万人に占める割合は8.1%となっています。

男女別にみると，男性は505万人，女性は530万人で，女性が男性より25万人多くなっています。 (表1，表2)

昭和25年生まれが最も多い

^{とら}寅年生まれの人を出生年別にみると，第1次ベビーブーム（昭和22年～24年）の翌年，昭和25年生まれ（平成22年中に60歳になる人）が201万人で最も多く，次に，第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）世代の昭和49年生まれ（同36歳になる人）が195万人となっています。 (表2，図2)

十二支の中では9番目

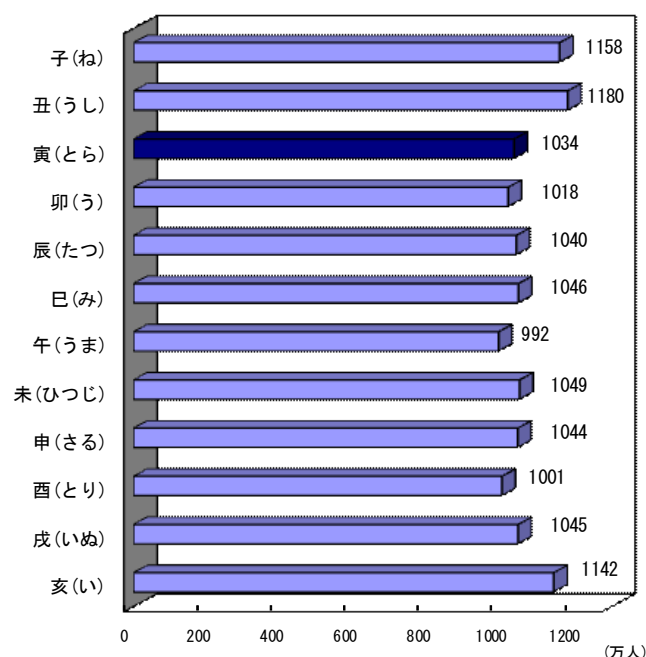
総人口を十二支別にみると，^{うし}丑年生まれが1180万人で最も多く，次に^ね子年（1158万人），^い亥年（1142万人）と続いており，^{とら}寅年生まれは9番目となっています。

(表1，図1)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12749	100.0	—
子(ね)	1158	9.1	2
丑(うし)	1180	9.3	1
寅(とら)	1034	8.1	9
卯(う)	1018	8.0	10
辰(たつ)	1040	8.2	8
巳(み)	1046	8.2	5
午(うま)	992	7.8	12
未(ひつじ)	1049	8.2	4
申(さる)	1044	8.2	7
酉(とり)	1001	7.9	11
戌(いぬ)	1045	8.2	6
亥(い)	1142	9.0	3

図1 十二支別人口



(注) 十二支別人口は，1月1日現在の推計のため，平成22年生まれ^{とら}の寅年の人は含まれない。

図2 男女、出生年別^{とら}真年生まれの人口

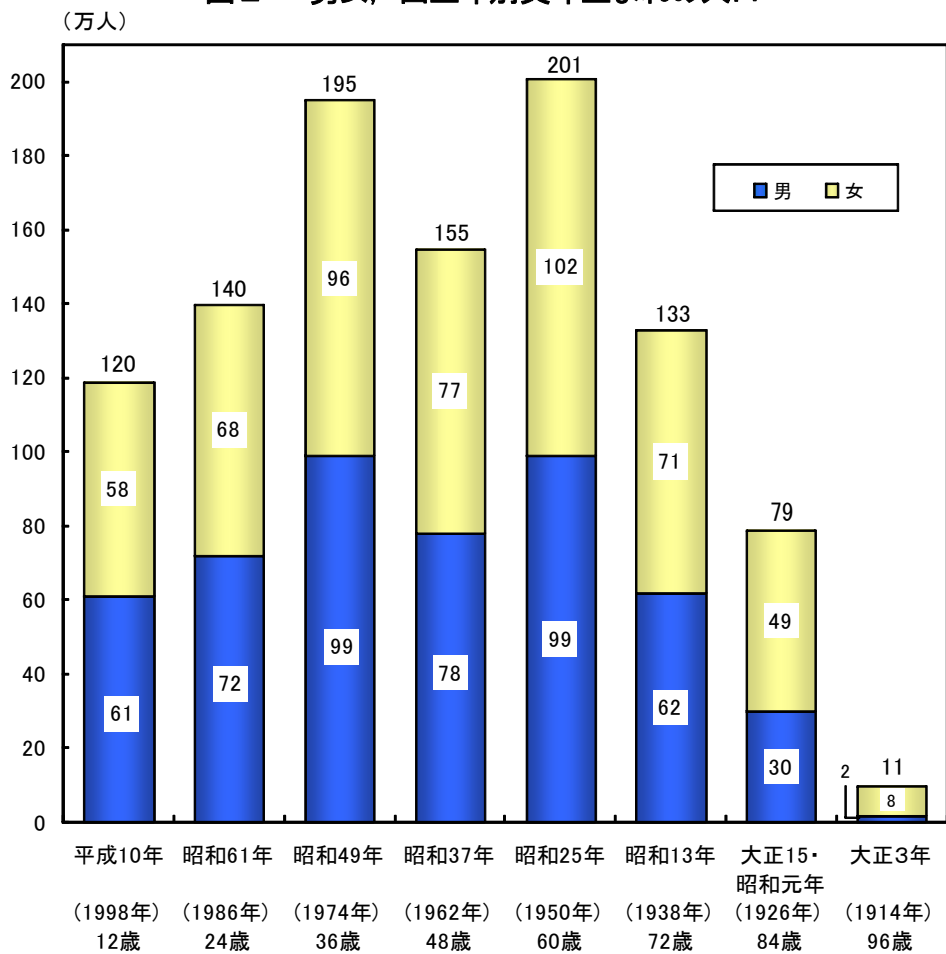


表2 男女、出生年別^{とら}真年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)
総数	—	1034	100.0	505	100.0	530	100.0
平成10年	(1998年) 12歳	120	11.6	61	12.1	58	11.0
昭和61年	(1986年) 24歳	140	13.6	72	14.3	68	12.9
昭和49年	(1974年) 36歳	195	18.9	99	19.6	96	18.2
昭和37年	(1962年) 48歳	155	15.0	78	15.5	77	14.6
昭和25年	(1950年) 60歳	201	19.4	99	19.7	102	19.2
昭和13年	(1938年) 72歳	133	12.9	62	12.3	71	13.4
大正15・昭和元年	(1926年) 84歳	79	7.7	30	6.0	49	9.3
大正3年	(1914年) 96歳	11	1.0	2	0.4	8	1.6

* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
 * 図及び表中の年齢は、平成22年に誕生日を迎えた時の年齢

注) 昭和元年は1926年12月25日以降

II 新成人人口は127万人

男性は65万人、女性は62万人

この1年間（平成21年1月～12月）に、新たに成人に達した人口（平成22年1月1日現在20歳の人口）は127万人となっています。

男女別にみると、男性は65万人、女性は62万人で、男性が女性より3万人多く、女性100人に対する男性の数（人口性比）は104.7となっています。（表3）

成人に達した平成生まれは125万人

新成人人口は「昭和64年・平成元年」生まれの人であり、127万人のうち、初めて成人に達した平成生まれは125万人となっています。

新成人人口は減少を続け、初めて130万人を下回る

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人と最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び

表3 新成人人口の推移（各年1月1日現在）

年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比	年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年（1968）	236	119	117	2.35	101.6	平成2年（1990）	188	97	92	1.53	105.5
44（1969）	243	123	121	2.39	101.9	3（1991）	194	99	94	1.57	105.4
45（1970）	246	124	123	2.40	101.0	4（1992）	199	101	97	1.60	104.2
46（1971）	216	110	106	2.07	103.9	5（1993）	204	104	99	1.64	105.0
47（1972）	193	98	96	1.84	102.0	6（1994）	207	106	101	1.66	105.0
48（1973）	188	94	94	1.74	100.8	7（1995）	201	103	98	1.61	105.6
49（1974）	178	89	89	1.63	100.6	8（1996）	189	97	92	1.50	105.3
50（1975）	171	87	84	1.54	103.6	9（1997）	183	94	89	1.46	104.7
51（1976）	168	86	83	1.50	103.7	10（1998）	174	89	85	1.38	105.0
52（1977）	158	81	77	1.40	104.5	11（1999）	170	87	83	1.35	105.2
53（1978）	152	77	75	1.33	102.8	12（2000）	164	84	80	1.29	105.4
54（1979）	162	82	80	1.40	103.3	13（2001）	157	81	77	1.24	105.3
55（1980）	160	81	78	1.37	103.9	14（2002）	152	78	74	1.19	104.7
56（1981）	158	81	78	1.35	104.3	15（2003）	152	77	74	1.19	104.7
57（1982）	156	80	76	1.32	104.5	16（2004）	152	78	74	1.19	104.7
58（1983）	160	81	78	1.34	104.2	17（2005）	150	77	73	1.17	104.9
59（1984）	165	84	81	1.38	104.3	18（2006）	143	73	70	1.12	105.0
60（1985）	171	87	83	1.42	104.8	19（2007）	139	72	67	1.09	106.4
61（1986）	182	93	89	1.50	104.2	20（2008）	135	69	66	1.06	105.2
62（1987）	136	70	66	1.12	105.7	21（2009）	133	68	65	1.04	104.9
63（1988）	194	99	95	1.58	103.9	22（2010）	127	65	62	1.00	104.7
64・平成元年（1989）	186	96	91	1.52	105.3						

* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。

注）平成元年は1989年1月8日以降

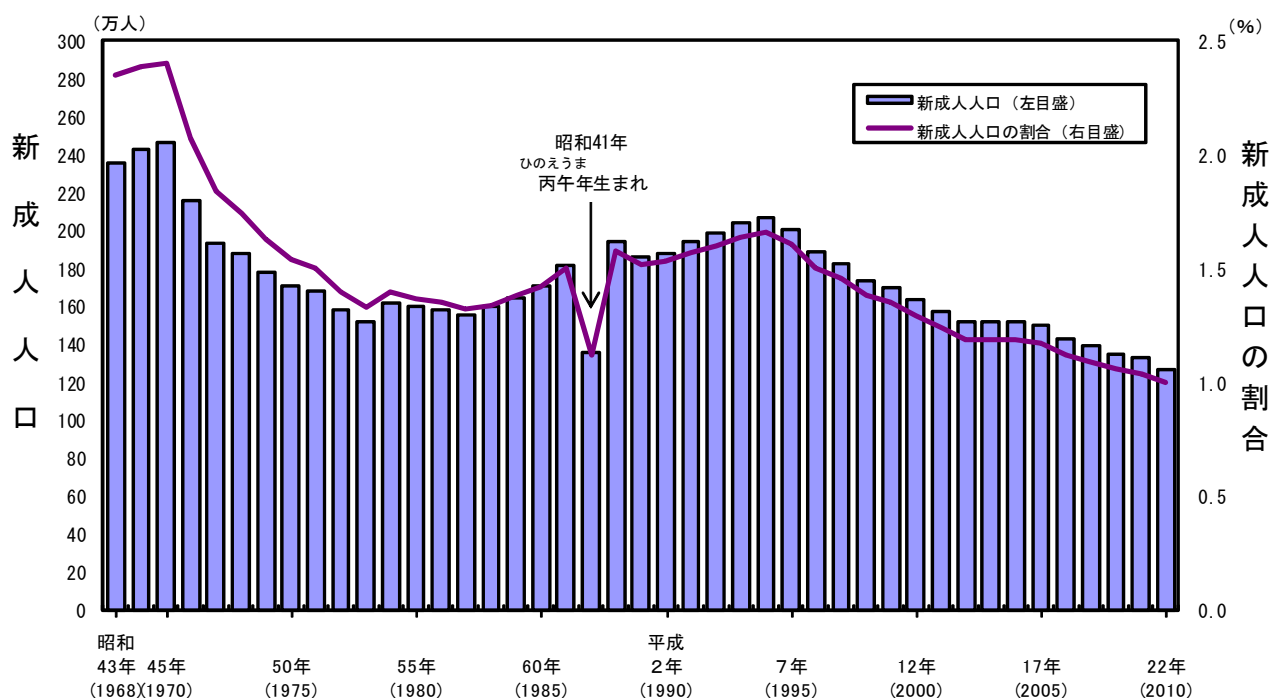
新成人人口の昭和64年生まれは7/365、平成元年生まれは358/365で単純日割計算した推計結果

増加傾向を続け、第2次ベビーブーム世代の人が成人に達した時に200万人台（最高は平成6年207万人）となった後、7年に再び減少に転じ、7年以降は減少を続けています。

平成22年は、前年（133万人）から6万人減少し、新成人が最も多かった昭和45年と比べ約半数の127万人となり、初めて130万人を下回りました。減少を続ける新成人人口は、3年連続して過去最低を更新しています。

また、総人口に占める割合も低下を続けており、平成22年は1.00%と、100人に1人となっています。（表3、図3）

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移（各年1月1日現在）



※ 推計人口は、国勢調査による人口を基に、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て算出している。

- ◆ 「推計人口」の詳しい結果を御覧になる場合は、次のURLを参照ください。
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>
- ◆ このトピックスは、次のURLから御覧になれます。
<http://www.stat.go.jp/data/topics/index.htm>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。
(例)「統計トピックス No43」(総務省統計局)

【問い合わせ先】
 総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号
 TEL : 03(5273)1009
 FAX : 03(5273)1552
 Eメール : c-suikei@soumu.go.jp



国勢調査

平成22年10月1日

平成22年10月1日に「平成22年国勢調査」を実施します。

国勢調査は我が国に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の最も基本的な統計調査です。

今回の国勢調査は、少子高齢化、就業・雇用などの実態を地域ごとに明らかにし、我が国が直面している重要課題に対する施策に欠くことのできない統計データを提供するものです。

平成22年国勢調査 標語一般部門
(総務大臣賞)

国勢調査は みんなで描く
日本の自画像

